

まなびの広場
稲進会
教室通信

彩色いろいろ

『月』を見ながら。

勉強の意義に悩む武志は、夏休みに大好きな親戚のおじさんの家に泊まっていた。

「外に出てみるぞ」ある晩、おじさんと一緒に庭に出た。

「あれをみてください」おじさんが夜空に輝いている月を指さした。

「月に行けると考えたらワクワクせんか？」

「する！」武志は、即答した。

「1969年7月20日、人類は月面に着陸した」

「アポロ11号！」武志が叫んだ。

「そうだな。わしは月を見るたびに思う。本気で月に行こうと考えた人とはどんな人だ……」

「たしかに。めちゃくちゃ遠いし、何があるかわからないし……。本気で行こうとはなかなか思えない」

月を見ながら、武志はつぶやく。

「本気の人間は、本気で勉強したに違いない。月の性質、どのような環境なのか、たどり着くのに必要な動力性能はどのくらいのものか……。勉強することはそれこそ無限にあったはずだ」

「そうだよね、だって誰も行ったことがないんだから」

おじさんの言葉を聞きながら、武志も事の大変さを実感しつつあった。

おじさんは、話しを続けた。

「おそらくだが、途中であきらめかけたこともあっただろう。でも、実際に月に人は行った。国同士の見栄なんてこともあったのかもしれないが、当事者の思いの根底には『ワクワク』という感情があったはずだ。夜空に浮かぶ美しい月に行ってみたい、どんなものなのか知りたいっていうな」

「なるほど」武志は月をじっと見続けている。

「だからな、今お前たちが向き合っている勉強も受験のためだけってのはもったいない。もちろん今現実にあるのは受験のための勉強だ。でもな、知らなかったことを知る、出来なかったことが出来るようになる。それってワクワクにつながるものなんじゃないか。だからな、テストの点数や偏差値、そうしたものに気を取られず、純粹に学ぶことそのものを楽しめ。誰かが書いた文章を読み他人の考えに感動する、図形の難問の答えにようやく辿りつけたことを喜べばいい、自分の住む国の歴史を知ることが今生きるこの世の価値を教えてくれる、ものの動きの原理を知ることが地球そのものが奇跡的なバランスの上で成り立っていることに気がつかせてくれる。学ぶことにワクワク出来たら人生ずっとワクワクだぞ。なんせ世の中知らないことばかりだからな」

「ワクワクかぁ」武志はつぶやいた。

「受験勉強で学ぶことなんて、ほんの石ころ程度にすぎない。世の中には、お前たちがワクワクしながら学べるものがわんさかとある。受験の合格不合格なんて、たいした意味はない。ただ、学ぶことを楽しめ、ワクワクして勉強するんだ。そしたらな、合格なんてものを手にするのはわけないぞ」

なんて話しを夏の夜空を眺めながらお子さんとされてはいかがですか？

奥松

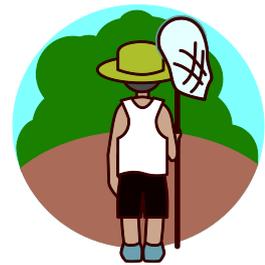


教室の風景

生きるのに必要な人間力

少し前になりますが、文部科学省と OECD が共同で新しい教育モデルの開発に乗り出すという記事を読みました。東日本大震災のあとの中高生の活動を参考にしながら、創造力、提案力、運営管理能力などを総合し、複雑で正解のない問題を解決できる力を目指すものだそうです。2020年度から実施される新しい学習指導要領にも反映していく予定で、現実的な課題について対策を導き出すという「ワークショップ」方式の授業が増えるとのこと。自分で考えたことを試したり、発表したりする場面も増えてくることでしょう。

レゴブロックは、何度でもやり直せるところが魅力のひとつです。私たちインストラクターも何かを作ろうと思ったら、一度で完成することなんてまずありません。生徒達が発表会に向けての作品を製作する時などは、それこそ何度も作り直す姿をたくさん目にします。



この前ハッとさせられることがありました。ジュニアクラスのレッスンで、支えるのを手伝っていた私が思わず「コワイ、コワイ」と言ってしまった時のことです。製作中のその子から「壊れたら、また直すからいいよ」という一言が。製作途中の作品を、本人ならまだしも私が壊しては申し訳ないという思いから出た言葉でしたが、そう思うあまり慎重になり過ぎていたのは私の方だったと気づかされました!! 「壊れたって大丈夫、修理して～」と言い続けてきたのは私の方だったのに。こんな風に子どもから帰ってくるとは思っていなかったので、嬉しいやら恥ずかしいやら……。

たとえ壊れたとしても、作り直せばいい、自分にはその行動が出来るんだ、という感覚をこれまで製作を繰り返す過程の中で身につけたのでしょ。

すぐに形となって現れなくとも、くり返すことには意味があるんですね。そうして身についたものは、その人の人間力となり、これから先ずっと深いところで自分を支えてくれるものになるはずですよ。

インストラクター 清水倫子

今月の作品紹介



“モノルール”
車両は、スライドして動くように作られています。人気のモノルールになりそうです。



“かき氷機”

レバーをまわすと氷を砕く仕組みがついています。美味しいかき氷が出来そうですね。